

8月第2週

135524537	2015/8/10 2:44	sell	2 cadCHF	0.74812	0.74864	0	2015/8/10 9:24	0.74864	0	0	0	-105.72
									EB_02_H1[s]	0	0	0
135683508	2015/8/12 4:16	sell	0.58 audusd	0.72726	0.72725	0	2015/8/12 9:00	0.72726	0	0	0	0
									EB_02_D1[s]	0	0	0
135698033	2015/8/12 11:02	sell	0.87 chfjpy	126.23	127.47	0	2015/8/12 12:20	127.47	0	0	0	-866.18
									PB_01_D1[s]	0	0	0
135710172	2015/8/12 10:37	buy	2.47 eurGBP	0.71251	0.71253	0	2015/8/13 0:42	0.71446	0	0	-19.55	752.07
									EB_02_H4	0	0	0
135632652	2015/8/11 15:14	buy	0.79 eurjpy	138.01	138.011	0	2015/8/13 5:01	138.556	0	0	-3.94	346.79
									EB_02_H4	0	0	0
135728342	2015/8/12 14:08	sell	0.96 usdjpy	124.25	124.473	0	2015/8/13 7:47	124.473	0	0	-2.06	-171.99
									EB_02_H4[s]	0	0	0
135774756	2015/8/13 4:26	sell	1.38 GBPnzd	2.35576	2.364	0	2015/8/13 9:13	2.36403	0	0	0	-755.02
									PB_H4_01_H4[s]	0	0	0
135852341	2015/8/14 9:57	buy	2.17 eurUSD	1.11643	1.1131	0	2015/8/14 10:51	1.11309	0	0	0	-724.78
									PB_01_H4[s]	0	0	0

赤矢でサポートされたPBで売りエントリーしたが、すぐに青印の戻りにあって、損切りになった。
ダイバージェンスも出ているかと思っただが、上昇相場での戻りで、そのまま上昇が継続。

1時間足だったので、ルールであれば、1時間の足と足の間のオレンジのラインを下回ってから青印のEB越えてエントリーすべきであった。



ピンク印で2回反発されて3回目の反発の赤印のEBでエントリーしたが、なぜか青印のバーの戻りで手動で損切りしてしまった。
きちんとSLをトレーリングしていれば、現在も保有中であつたので、残念。
ただ、日足トレンドの後期からのエントリーだったかもしれないので、反転できちんと入れた方が望ましい。



赤印のPBで売りエントリーしたが、すぐに逆行して青印で損切り。2本前の安値を越えてからエントリーにした方が良かったかも。
相場反転直後のオレンジ印あたりの、EB, PBでのエントリーが望ましい。





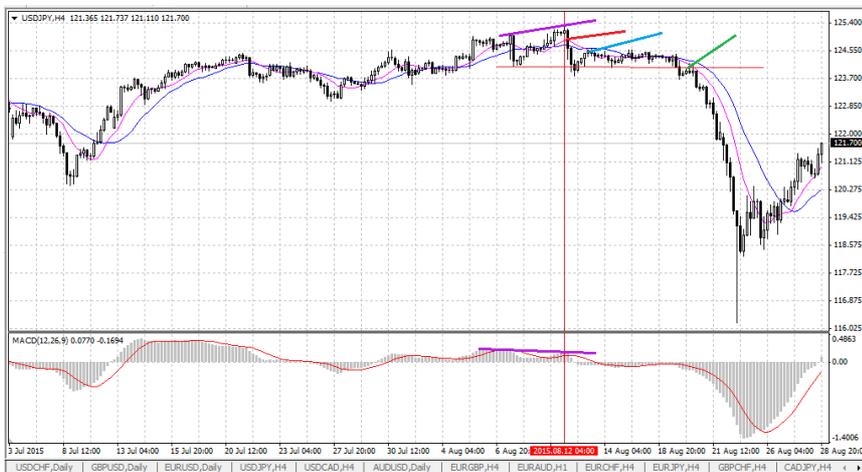
MAに支えられたEBで買いエントリーしたが、すぐに相場が反転してしまっ
 レジスタンスとしては1本下がってきていたので、オレンジのEBでエントリーしていれば、利益になった。
 中途半端なところではエントリーしないこと。



こちらも全く同様で、MAに支えられたEBで買いエントリーしたが、すぐに相場が反転してしまっ
 レジスタンスとしては1本下の緑印がきていたので、オレンジのEBでエントリーしていれば、利益になった。
 中途半端なところではエントリーしないこと。



ダイバージェンスの後、赤印のEBでエントリーしたが戻りが大きかったためになぜか損切りしてしまっ
 その後ロスカットにはなっていたので、大きな相場には乗れなかった。
 4時間足のダイバージェンスの場合には、赤線が安値越えのラインなので、このラインを超えて戻ったところで、もう一度、緑のPBで入るべきだった。



オレンジ印のサポートライン及びMAにサポートされたPBで売りエントリーしたが、すぐに逆行してしまっ
 前回の安値（緑印）を超えてかたの売りエントリーの方が安全。

特にダイバージェンスも出ていなかったため、レンジ相場の可能性を考えること。



線印のサポート及びMAサポートのPBでエントリーしたがすぐに逆行して損切りになった。
戻りの無い相場になっていたようだったので、そろそろ反転も考えること。
反転してからすぐのオレンジのEB, PBで入った方が良い。明らかなトレンドには乗らないこと。

